

株主のみなさまへ

BUSINESS REPORT

特集 白河工場にてIATF16949認証を取得しました

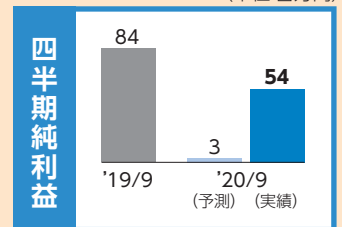
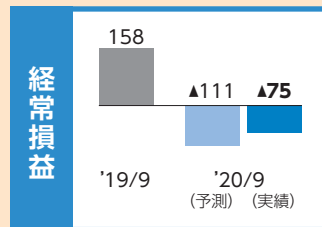
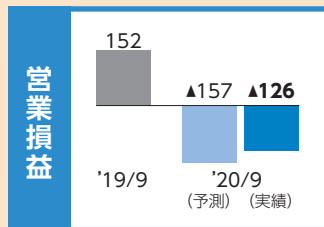
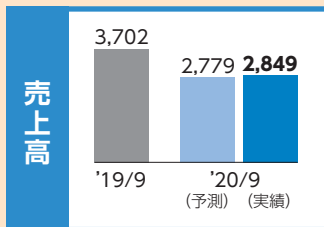

証券コード：5162

第51期 中間株主通信

2020.4.1 ▶ 2020.9.30

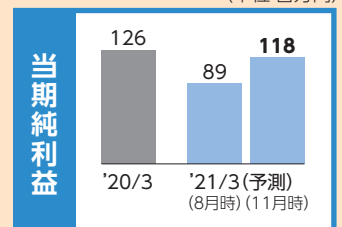
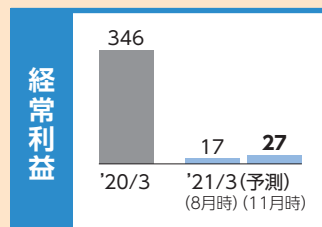
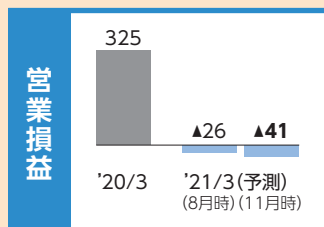
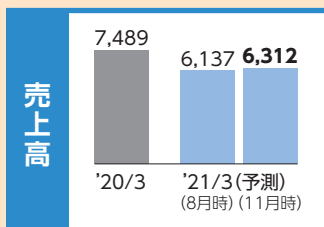
第51期 第2四半期実績 連結財務ハイライト

(単位:百万円)



第51期 通期(予想)

(単位:百万円)



第2四半期実績のポイント・通期見通しの解説

第2四半期では予測より、自動車関連製品の受注が回復傾向に 通期見通しでも継続の一方、医療用ゴムは在庫調整等で減少の見込み

第2四半期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、顧客の受注状況と工場の稼働を効率的に進めるため、計画的な休業措置をとるなど臨機応変に対応してまいりました。卓球ラケット用ラバーやRFIDタグ用ゴム製品の受注は依然として厳しい状況にありますが、自動車関連の製品は8月以降から徐々に受注が回復してきました。8月6日に第2四半期と通期の業績予測を公表いたしました。この時点の予測に比べて、ASA COLOR LEDなど自動車向けの製品の受注が回復傾向にあり売上高が増加し、これに伴い、利益の赤字幅が縮小しまし

た。四半期純利益は特別利益として投資有価証券売却益を165百万円計上したことにより黒字となっています。

通期見通しは、自動車向けの製品の受注の回復傾向が加速している一方で、医療用ゴム製品の受注が在庫調整等で減少する見込みです。また、グローバルな視点で新型コロナウイルス感染症の終息が不透明であることから、売上高は増加するものの、営業損失の赤字幅は大きくなる見込みです。なお、経常利益は営業外収益として雇用調整助成金等を計上することから上回る見込みです。

白河工場にてIATF16949認証を取得

自動車のデザイン性向上や、さらなる安全安心の構築に寄与していきます。

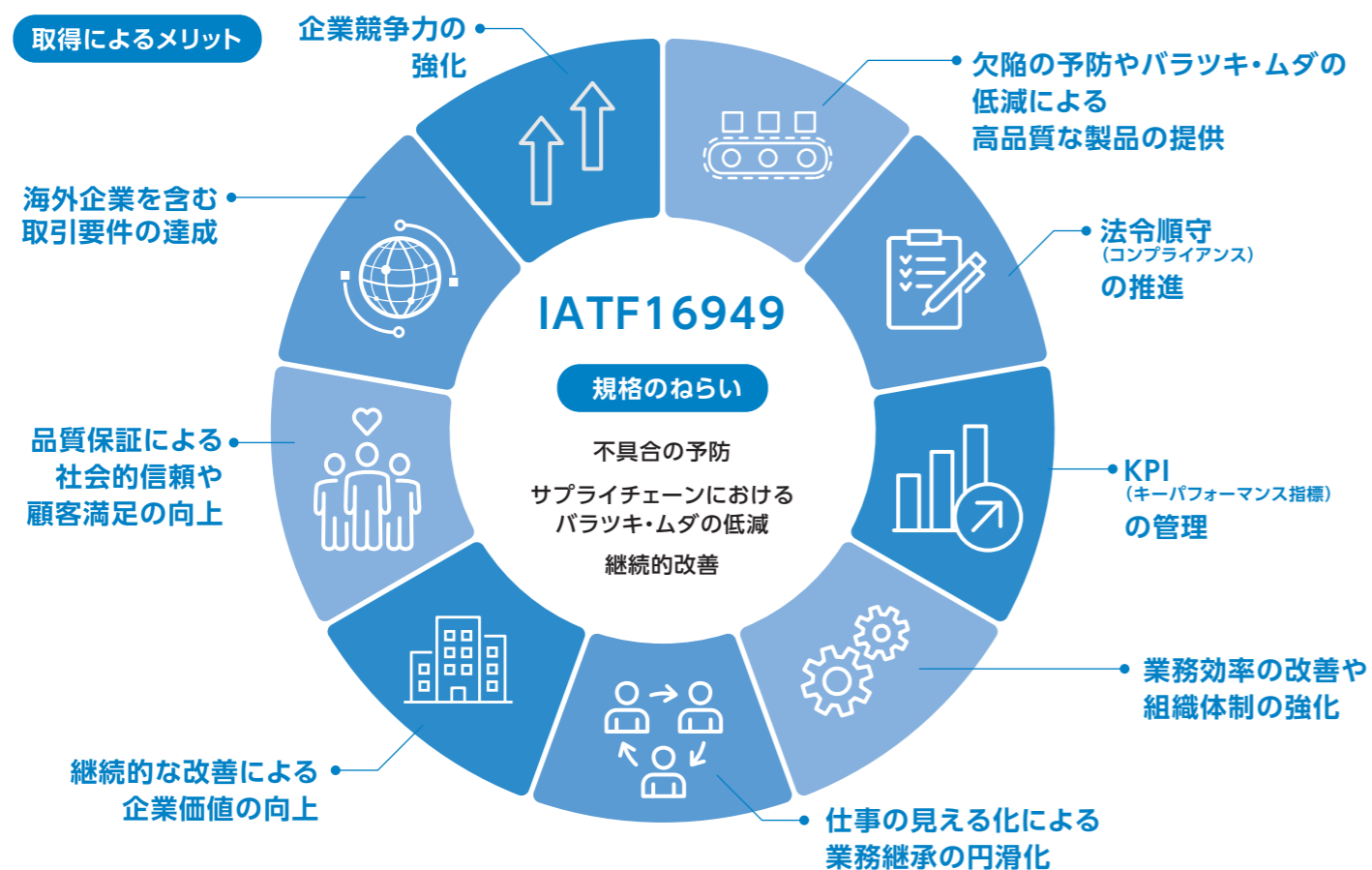
IATF16949認証とは？ 制度の概要とそのメリット

IATF16949は、自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格を指します。欧米の自動車メーカーや自動車団体が、部材の調達先である部品/材料メーカー(サプライヤー)に対して、IATF16949認証登録を取引条件として要求するもので、自動車メーカーは、その登録されたサプライヤーから部材を調達するという仕組みになっています。つまり、欧米の自動車メーカーとの取引をする上で必要な認証ということになります。

白河工場を含めた当社の事業所・工場では、品質マネジメント規格の

ISO9001を取得しており、自分たちでルールを決めて、目標の達成や顧客満足の上昇に繋がる活動を実施していますが、IATF16949では、それに加えて、不具合の予防と、バラツキおよびムダの削減に繋がる継続的改善を、システム化することが要求されています。

IATF16949の認証を取得することで、当社の製品や技術を世界中の人々に知っていただき、自動車向けの厳しい品質マネジメントを実施していることがお客様から認識され、グローバルな新規顧客開拓と継続した品質改善を加速することができます。



担当者インタビュー 取得の経緯や今後の展望



生産本部 白河工場長
市川 明

Q. 認証を取得しようと思った理由を教えてください。

当社の製品や技術を世界中の人々に知っていただきたいと考え、IATF16949の認証取得を決意しました。私たちの活動で、自動車のデザイン性向上や、さらなる安全安心の構築に寄与できると考えています。

Q. 認証の取得にあたって苦労したことは何でしょうか？

IATF16949マネジメントシステムの運用には、従業員全員が要求事項を理解し業務に従事することが必要です。そのため、認証取得に向けた活動において、現場に近い若手リーダーが参画し、規定の作成や標準書・手順書などの整備を進めました。なによりも、聞き慣れない用語を覚えること、馴染みの薄いコアツールの手法を理解することに苦労しました。

Q. 認証取得で何ができるようになりましたか？

今まで以上に、お客様の側に立っての思考ができるようになりました。なかでも不具合を未然に防止するための活動が強化されたと感じています。例えば、製造工程に変化点が生じたときには、必ずリスク解析を行います。この際にコアツールのひとつであるFMEA(故障モード影響解析)を実施することが標準化され、日々の業務で活用しています。

Q. 認証取得後に工場運営上でどういったことをやっていきたいですか？

現在、白河工場で製造している自動車向け製品は、ASA COLOR LEDですが、新たな開発製品の受注を目標に掲げ、活動していきます。



IATF16949認証書



企画本部 品質保証部
品質グループ長
宇津木 光春

Q. 審査の際に褒められたことや評価されたことはありますか？

例えば、製品の歩留り改善のために、技術グループを中心とした部門横断チームで工程改善に取り組み、大きな活動成果に繋がっていたこと、製品の検査結果が、従来の紙ベースからタブレット化によるEDP化を推進し、検査データの入力時間低減および検査データ集計と活用に大きく貢献したこと、緊急事態の際の、仕入れ先への状況調査方法が、適切に運用されていたこと等を評価していただきました。

Q. 取得にあたって苦労したことは何でしょうか？

IATF16949では、これまで実施していなかった専門的な手法を実施しなければいけませんでした。例えば、コアツールと呼ばれる専門的な管理方法があります。外部での研修に参加してスキルを習得し、社内ルールに落とし込み運用していくことに苦労しました。今では、慣れて使いこなすことができるようになり、苦労が報われました。



ASA COLOR LED製造工程

NEWS

光学設計受託ビジネスを開始しました



当社では、従来から透明のシリコンゴムを加工したレンズ[ASA COLOR LENS]の製造と販売を行っています。お客様から光学設計に関してのご相談が多いことから、ゴム製だけでなく、ガラス製や樹脂製の光学設計についてご提案することで、お客様のニーズに対応しながら、当社の光学設計の技術的ノウハウを高めていくために、光学設計受託ビジネスを

開始することとなりました。これにより、光学設計力を高め、設計段階からレンズ製品開発に携わることで、提案力と競争力の向上および製品の付加価値を高めます。また、光学事業に関する協業を推進し、ネットワークを広げることで、光学設計に関するノウハウを蓄積し、さらにお客様への提案力を高めます。

NEWS

WEB販売や動画PRIによる拡販を進めています



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、テレワークやWEBミーティングなど、直接お客様を訪問して提案する機会が少なくなっていることから、B to BビジネスのWEBサイトに製品を紹介することで、お客様の目に触れる機会を増やし、さらにグローバルに当社製品、技術を知っていただく機会を拡大させています。また、従来から取り組んでいる

通販サイト「ばなぐる」への掲載製品拡充や医療用製品の通販サイト「アズワンドットコム」に製品を掲載しています。さらに、ホームページの製品紹介ページをリニューアルし、製品を動画で紹介するなど、環境変化に迅速に対応してお客様に密着する活動を続けていきます。

TOPIC シリコンゴムの超親水性処理技術を開発しました



一般的なシリコンゴム
(接触角108°)

超親水シリコンゴム
(接触角10°以下)

シリコンゴムはその素材性質上、親水性(水をはじかない性質)が少なく、ゴムの表面に水分を接触させると水分の接触角が100°以上となります。このたび、当社が開発した親水化技術は、配合と表面改質の二通りがあり、親水化効果を長期間保持できること、耐滅菌性があること、簡便なものづくりができることが特長で、ゴムの表面に水分を接触させた場合の接触角が10°以下にすることができます。超親水性処理技術は、当社独自の分子接着・接合技術と非常に相性の良い技術で、技術の組み合わせにより、ライフサイエンス分野を中心に、シリコンゴムの付加価値を高め、様々な用途への展開を進めています。

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 11,500,000株
発行済株式の総数 4,618,520株
株主数 3,034名

大株主 (2020年9月30日現在)

株主名	(株) 持株数	(%) ^{*1} 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.5
佐藤尚美	228,700	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.9
株式会社東邦銀行	207,400	4.5
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3

*1 持株比率は自己株式(53,076株)を控除して計算しております。

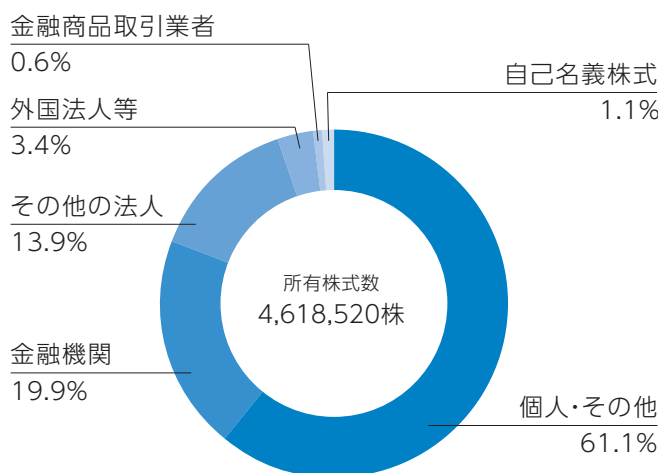
株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月に開催
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
 (郵送先)〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 (JASDAQスタンダード)
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<https://www.asahi-rubber.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式の分布状況 (2020年9月30日現在)



会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)
<https://www.asahi-rubber.co.jp/>
 所在地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 設立 1976年6月 (創業1970年5月)
 資本金 5億1,687万円
 証券コード 5162
 正社員数 317名
 主な業務内容 工業用ゴム製品の製造・販売
 主な事業所 本社: 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 大阪営業所/名古屋営業所/福島工場/
 第二福島工場/白河工場/白河第二工場
 役員
 取締役会長 横山 林吉
 代表取締役社長 渡邊 陽一郎
 取締役 田崎 益次
 取締役 滝田 充
 取締役(監査等委員) 高木 和久
 取締役(監査等委員)(社外) 馬場 正治
 取締役(監査等委員)(社外) 筑紫 勝磨